

## Oracle12c のデータベース作成 拡張構成

### ソフトウェアのダウンロード

Oracle 社のサイトより、開発者向け Oracle12c Enterprise Edition をダウンロード

### ソフトウェアのインストール

圧縮ファイルを解凍した後、setup.exe を管理者として実行する

### データベースの作成方法

Database Configuration Assistant を起動

データベースの作成先

D:\¥Oracle\_DataArea

※ フォルダは事前には作成しておかない

パスワードの

管理者 : OraTest12

Oracle ホームのユーザー : y-tanaka ユーザーのパスワード

データベース名

コンテナ・データベース

oracle\_SID : orcl

グローバル名 : orcl.local

プラガブル・データベース

oracle\_SID : orclpdb

グローバル名 : orclpdb.local

プラガブル・データベース名には、  
\_ (アンダーバー)、- (マイナス)、  
数字が使用できない

### インストール時のエラー対応

インストールに関するエラーについては、P6 を参照のこと

## OEM 画面使用のための設定

拡張構成でデータベースを設定する時には、ステップ 10 の管理オプションの指定において、

Enterprise Manager (EM) Database Express の構成にチェックを入れること

OEMDE に必要なモジュールが準備されて、データベースが作成される

OEMCC を使ったデータベース管理の OEM 画面を使用する場合には、

Enterprise Manager (EM) Cloud Control への登録にチェックを入れる必要がある

tnsnames.ora の編集内容

```
# tnsnames.ora Network Configuration File:
# C:\Oracle_Base\product\12.2.0\dbhome_1\network\admin\tnsnames.ora
# Generated by Oracle configuration tools.
```

```
ORACONN =
  (DESCRIPTION =
    (ADDRESS_LIST =
      (ADDRESS = (PROTOCOL = TCP)(HOST = Business2-PC)(PORT =
1521))
    )
    (CONNECT_DATA =
      (SERVICE_NAME = orcl.168.1.50)
    )
  )
```

クライアント端末からの接続の  
ために追加設定した部分

```
ORACLR_CONNECTION_DATA =
  (DESCRIPTION =
    (ADDRESS_LIST =
      (ADDRESS = (PROTOCOL = IPC)(Key = EXTPROC1521))
      (ADDRESS = (PROTOCOL = TCP)(HOST = 192.168.1.50)(PORT =
1521))
    )
    (CONNECT_DATA =
      (SID = CLRExtProc)
      (PRESENTATION = RO)
    )
  )
```

インストール時に自動セットさ  
れた部分  
( OS ユーザーの認証に必要 )

OMA ホスト

OMR ホスト

## Oracle データベースの作成手順（拡張構成）















